



from Hong Kong

## 香港映画の復活



かつて九龍城砦があったエリアには、当時をしのばせる古いアパートも残っている

1980年代から90年代にかけて、歌謡曲や映画など、香港の大衆芸能が強い輝きを放った時代がありました。圧倒的な歌唱力で日本でも名声を博した台湾出身のテレサ・テンは、長い間香港を拠点とし、広東語でも多くの名曲を残しました(注)。また、ファイナルファンタジーⅧのテーマ曲を歌った北京出身のフェイ・ウォンも、広東語の曲を多く歌いました。この時代、中国大陆の十数億人の中国人民も(歌詞カードやカラオケの字幕がなければ)理解できないはずの広東語のポップスに熱狂したのです。しかし、2000年代になると広東語のポップスは次第に廃れていき、アジアンポップスの中心地は台湾や韓国に移っていきます。足元ではK-POPが世界を席巻しているのは皆さんご存じの通りです。

映画でも、香港がアジアの映画界をリードした時代がありました。ブルース・リー、ジャッキー・チェンのカンフー映画からウォン・カーウアイ監督の『恋する惑星』まで、次々と話題作が香港で製作されます。しかし、世紀が変わると映画でもヒットが出なくなってきます。

2024年に、香港映画界から突然こうした停滞を打ち破るメガヒットが生まれました。『トワイライト・ウォリアーズ 決戦! 九龍城砦』(以下、「トワイライト」)です。この作品は、義理人情で成り立つ無頼者の世界を余すことなく描き出す香港映画の魅力を満載した任侠映画で、世界興行収入は150億円を超えたとされています。香港での観客動員数も過去最高を更新しました。久々に香港映画が日本でも大きな反響を呼び、聖地ツアーで香港を訪れた日本人旅行客も多いと聞きます。

これまで、香港芸能界の全盛期を知る世代からすると寂しい状況が続いてきましたが、「トワイライト」を復活ののろしにして、広東語の芸能界が盛り上がってくれることを香港住民として心から願っています。

(日本銀行香港事務所)

(注) 彼女の母語は北方官話です。これは中国大陆では「普通話」、台湾では「国語」と呼ばれ、中国大陆の主に長江以北の地域で話される中国語の一種です。

\*本コーナーは海外で働く日本銀行職員または日本銀行からの出向者が執筆しています。



「トワイライト」のセットは九龍城砦の跡地の公園に展示されている



映画のロケ地となったレストランには、聖地ツアーで訪れる日本人観光客も多い